

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
研究報告 第9号
平成26年

目次

論文

階層的自動タグ付けによるエキスパート検索エンジンの研究・開発	大平 倫宏 富山 真一	2
呼吸・心拍の非接触モニタリングシステムの開発	藤原 康平 小林 丈士 松井 岳巳 香川 正幸	6
SPD 分離器における雷インパルス耐電流性能評価法	黒澤 大樹	10
クランクプレスを用いたせん断加工時に生ずる余剰エネルギーを利用した発電技術の開発	中村 健太 玉置 賢次 倉持 幸祐	14
深紫外 LED を用いたオゾン濃度測定装置の開発	中村 広隆 武田 有志 菅野 裕康 阿彦 由美 青柳 克信	18
圧力測定用材料の開発	吉野 徹 大久保 一宏 山中 寿行 渡邊 禎之	22
抗菌剤の溶出性が低い創傷被覆材をポリビニルアルコールの静電的性質を利用して簡易に作製する技術の開発	柚木 俊二 光田 益士 大藪 淑美 関口 正之 久保 貴史 岩寄 徹治	26
架橋剤ゲニピンの添加によって力学特性を高めたインジェクタブルコラーゲンの温度応答特性	柚木 俊二 畑山 博哉 大藪 淑美	30
導電材料を用いた電磁波抑制シートの試作	上野 武司 佐々木 秀勝 大森 学	34

ノイズ対策を施した産業用コンピュータの開発	佐野 宏靖 佐藤 研 高橋 文緒 山下 俊紀 時川 昌大	38
多面体サンドイッチコアパネルの形状による機械的性質への影響	高橋 俊也 西川 康博 阿保 友二郎	42
防護服の不織布化	長尾 梨紗 榎本 一郎 窪寺 健吾	46
調湿建材の評価時間を短縮できる新規試験方法の提案	池田 紗織 平井 和彦 小山 秀美	50
バルーンロボットの開発	島田 茂伸 益田 俊樹 森田 裕介 小林 祐介 後濱 龍太 佐々木 智典 横澤 毅 新井 宏章 入月 康晴	54
ノート		
低コスト化を目指す基板上光通信路の実装技術	山口 隆志 大原 衛 武田 有志	64
高性能 VOC センサの開発	平野 康之 篠田 勉 石地 徹 飯島 鉄也 西出 龍弘	66
DLC 膜の水素含有量に及ぼす熱処理の影響	清水 綾 川口 雅弘	68
減圧凝固試験法による AD12 アルミニウム合金溶湯の品質評価	佐藤 健二 石清水 康二	70
赤外領域における放射照度分布測定について	磯田 和貴 澁谷 孝幸 中島 敏晴	72
振動により製品から発生する異音評価方法の開発	宮入 徹 神田 浩一 服部 遊 福田 良司	74
音響インテンシティ法による小試料音響透過損失測定	西沢 啓子 神田 浩一 渡辺 茂幸 服部 遊 宮入 徹	76

硫化銀薄膜を用いた大面積光電センサへの試み	海老澤 瑞枝 磯田 和貴 横田 浩之 澁谷 孝幸	78
熱電対を用いた表面温度測定における誤差の低減化	中島 敏晴 沼尻 治彦 佐々木 正史	80
炭素材微細金型のフッ素イオン注入による表面改質	寺西 義一 石束 真典 長坂 浩志 近藤 ゆりこ 渡部 友太郎 森河 和雄 中村 勲 清水 徹英 三尾 淳 小林 知洋	82
熱処理木材の耐候性に及ぼす塗装効果	村井 まどか 小野澤 明良 神谷 嘉美 木下 稔夫	84
高効率炭素ドット蛍光体の開発	林 孝星 渡辺 洋人 緒明 佑哉 今井 宏明	86
スーパーマイクロポーラスシリカの細孔径制御とその細孔を利用した酸化タングステンサブナノ量子ドットの開発	渡辺 洋人 緒明 佑哉 今井 宏明	88
ホルムアルデヒド酵素サイクルセンサの開発	月精 智子 和田 俊明 左成 信之 紋川 亮	90
レーザー干渉計の不確かさ算出手法に関する研究	徳田 祐樹 中西 正一	92
強ひずみ加工によるアルミ合金切削屑の固化成形	小船 諭史 神田 浩一 渡辺 茂幸	94
木材ーボルト接合時における破損防止を考慮した締付け条件	松原 独歩 中野 貴啓 島田 勝廣	96
おむつ利用者の QOL の向上をサポートするスラックスの開発	平山 明浩 加藤 貴司 佃 由紀子 鈴木 明子	98
金属製編地の農業用被覆資材への応用	唐木 由佑 岩崎 謙次 野口 貴 海保 富士男 沼尻 勝人	100

アルミニウム合金スクラップの迅速種別判定に及ぼす試料の表面状態の影響	湯川 泰之 山田 健太郎 上本 道久	102
ガラスの鏡面創成用砥石の研究	鈴木 悠矢 中西 正一	104
新規ブリーツ加工法を用いた絹織物製品開発	武田 浩司 小林 研吾 朝倉 守 山浦 未来 渡辺 亜希子	106
アルミニウム繊維添加による樹脂の熱伝導率向上	飛澤 泰樹 山中 寿行 清水 研一 香川 匡史 落合 長範 中尾 芳典	108
布の風合い評価における触荷重特性	山田 巧 小柴 多佳子	110
カーボンブラックにおけるマイクロ波を利用した液相酸化処理の効果	平井 和彦 池田 紗織 峯 英一	112
外部発表一覧		
論文		117
口頭発表		123
ポスター発表		132
総説		138